



カワラヒワ

広報 **えびな**

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

*この広報は再生紙を使用しています。

保とう美しい環境

5/25相模川美化キャンペーン

ふるさとの川の清潔で美しい環境を保つため、相模川河川敷の美化清掃にご協力ください。

▷日時 5月25日(日)午前7時30分清掃開始(少雨決行)～8時10分▷清掃場所 河畔公園付近～小田急線鉄橋下 ▷内容 可燃ごみ、不燃ごみ、ビン類、缶類、ペットボトルを品目ごとに分けて収集しながら河畔公園に集合。ごみ収集場所は4カ所に設置 ▷その他 軍手等は各自持参。ごみ袋は現場に用意(持参も可) ▷実施主体 市、海老名市廃棄物対策推進協議会、神奈川県

☎ 資源対策課(内542)。



①魚道を上るアユの群
②美化キャンペーンには毎年多くの参加者が



③解禁日は釣り人で賑わう
④涼を求めて川遊びをする家族も増えています

6月1日アユ解禁

最高です自然・釣り・料理

6月1日は、釣り人が待ちに待ったアユ解禁日。去年に引き続き今年も海で天然アユの自然上が多く、大漁が期待できそうです。この解禁日を前に、今年25日には、ふるさとの川をきれいにする「相模川美化キャンペーン」を行います。さわやかな風を感じながら、ご家族で釣りや河原遊びが楽しめる季節が、すぐそこまで来ています。

今の時期、多くの太公望が釣竿を磨き、仕掛けを作り、アユを釣り上げたときの感触を想像しては、夜も眠れず解禁日を心待ちにしているようです。いちばん気になるのがアユのそ上数ですが、寒川取水堰の魚道では、激しい水流に逆らい、陽の光に銀鱗をキラキラ反射させながら、無数のアユが上流に向かって飛び跳ねています。
相模川漁業協同組合連合会(菊地光男会長)のそ上調査によると、4月下旬現在で2000万匹と、昨年同様の釣果が望めます。

遊漁券が必要です

アユ解禁期間は6月1日から10月14日まで、12月1日から31日まで。投網は7月1日から10月14日までです。
相模川で釣りをする場合は遊漁券が必要です。各釣具店やコンビニエンスストアでお求めください。現場で監視員から日釣券を求めると、監視員から日釣券を買った場合アユ1,500円、雑魚1,100円、投網4,000円になります。

15年度遊漁料金			
	アユ	雑魚	投網
日釣券	1,000円	600円	3,500円
年釣券	10,000円	—	20,000円

現場で監視員から日釣券を買った場合アユ1,500円、雑魚1,100円、投網4,000円になります。

大量の魚影確認!!

清掃活動には積極的に参加しているそうです。

「最近河原遊びを兼ねてアユ釣りにくる家族連れが増えていて、後から来る人のためにも危険な釣り針やごみは持ち帰ってほしいですね。以前と比べてごみのポイ捨ては減ったものの、家電製品などの不法投棄が増えていると、石原さんは残念そうに話します。

解禁日には川辺に釣り人がずらりと並び、その様子をテレビ局が何社も撮影に来る。そんな光景を見て、初夏の訪れを感じるといふ石原さん。気になるのは、場所取りで喧嘩を始める釣り人の姿。「楽しみに来ても、これじゃ台無し。釣りに来たときぐらい、のんびりと自然を感じてください。」

なにかと殺伐とした昨今、肩の力を抜き、相模川のみどりと清流で心を潤わせてみてはいかがでしょうか。